

地域資源：農林水産物、田んぼ

事業分野：食品、観光・旅行、教育

事業主体：生産者、商工業者、観光事業者、NPO

- 「米を作るな、未来を創れ！」の理念の下、地元小学生の職業体験や出前講座に積極的に取り組むとともに、米や加工品を多数販売する。また、「開かれた田んぼ」を目指し、SNSやクラウドファンディングを活用した「田んぼでカフェ」や「田んぼでCAMP」の開催、農業体験プログラムの実施など、ネットとリアルを融合させた取組を行う。

基本情報

- 所在地：栃木県那須町
- 選定表彰：
 - ・地産地消等優良活動表彰全国地産地消推進協議会会長賞（R3）
 - ・第9回「ディスカバー農山漁村の宝」（R4）
- 主力商品・イベント：
 - ・米及び米加工品
 - ・田んぼでカフェ
 - ・田んぼでCAMP
- 活用した支援施策：
 - ・小規模事業持続化補助金（中小企業庁）
 - ・クラウドファンディング（campfire）

取組の概要

- 田植え・稲刈りなど地元小学校の体験授業のサポートや田んぼに関わる循環型農業の出前授業の実施、地元ホテルやNPOと連携した農業体験も企画・開催。
- 米を使った自家製商品の開発・販売を積極的に行っており、ポン菓子「イナポン」のほか、米粉ワッフル、甘酒等の商品化を行う。
- SNSやクラウドファンディングを活用して、田んぼの風景や重要性を情報発信するとともに、「田んぼでカフェ」や「田んぼでCAMP」を開催し、消費者と農業の懸け橋となっている。



小学校の田植え体験事業

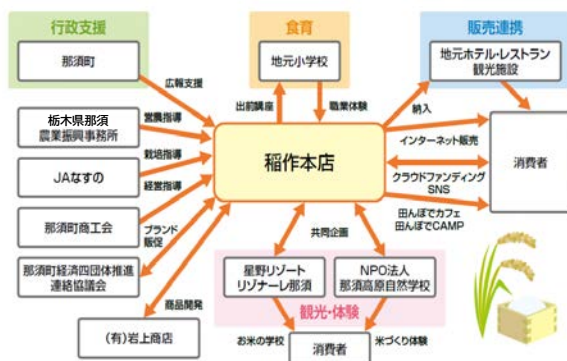


プレミアムポン菓子「イナポン」



田んぼでカフェ

体制図



取組の成果

- 小学校の体験学習や田んぼカフェ、CAMPなど集客数 200人/年間
- 就農後の3年間で、米の直売 取扱数量7倍、金額14倍
売上1,500万円増加
- Twitterのフォロワー数 約1万人獲得

ウェブサイト▶ <https://farm1739.com/>

○平成11年に会社を設立。いちごの観光資源化を目指しいちご狩りを開始し、未収穫分は加工販売のほかレストランやカフェも併設し6次化を推進。さらに、就労継続支援事業所を開設し農福連携にも取り組む。

基本情報

- 所在地：栃木県小山市
- 選定表彰：
 - ・第8回「ディスカバー農山漁村の宝」(R3)
 - ・第41回プロが選ぶ観光食事土産物施設100第3位 (R3)
- 主力商品・イベント：
 - ・果物狩り（いちご、桃、さくらんぼ、ブルーベリー、ぶどう等）
 - ・果物加工品（ジャム、ケーキ等）
- 活用した支援施策：
 - ・栃木県ものづくり補助金 他

取組の概要

- 地元の野菜やいちごを使ったケーキ等を販売する直売所や、それらを提供するカフェやレストランを併設。
- 社会福祉法人「めぶき会」により障害者を雇用し、観光農園のほか、いちご加工品「王さまいちごゼリー」の販売等に従事。
- 平成30年にJGAP認証を取得し、食品の安全、環境保全、人権と福祉などへの配慮に取り組むとともに、継続的な取組とするため農場担当者4名がJGAP指導員資格を取得。



いちご狩り

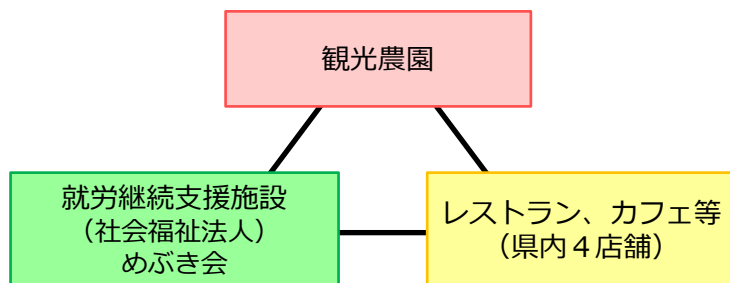


農福連携で働く従業員と「王さまいちごゼリー」



自社製いちごを使用した6次化商品

体制図



取組の成果

- 農産物、6次化商品の売上：4.2億円（H20）→ 8.8億円（R3）
- 雇用者数：134名（R3）
- 障害者雇用数：58名（R3）
- 来客者数：年間約30万人（R3）

ウェブサイト▶<https://www.itigo.co.jp/>

- 宇都宮北部に24haの圃場を有し、竹、タケノコ、栗を栽培しつつ、その管理された竹林を観光資源として一般開放
- 竹林の美しさから、栃木県・宇都宮市のフィルムコミッションと連携し、ロケ地としても利用。

基本情報

- 所在地：栃木県宇都宮市
- 選定表彰：
 - ・ 第8回「ディスカバー農山漁村の宝」特別賞（R3）
 - ・ ふるさと文化財の森認定（R4年度、R5.3）
 - ・ 栃木県農業大賞 農村活性化の部 栃木県知事賞（R1）
 - ・ とちぎ地産地消夢大賞（R3）
- 主力商品・イベント：
 - ・ タケノコ・栗・加工品・竹材・竹植木苗
 - ・ 農業体験ツアー（収穫、竹工作体験等）
 - ・ 撮影・イベント場所の貸出
 - ・ 竹林観光事業（竹林キャンプ事業含む）
- 活用した支援施策：
 - ・ ものづくり生産性向上促進補助金(5次)
 - ・ 第三回令和2年度 事業再構築補助金

取組の概要

- 地域のシェフと連携したタケノコ加工品の開発、菓子メーカーと連携した栗菓子の開発のほかメンマ業界パイオニア事業者と国産メンマ開発などを実施。
- タケノコや栗の収穫体験に加え、間伐した竹で水鉄砲、弓矢や竹灯りなどを工作する「竹に触れて竹を好きになってもらう」農業体験ツアーを実施。
- 竹林の景観を評価され、撮影ロケ地として多くの作品で利用。栃木県・宇都宮市のフィルムコミッションとも提携し、地元の知名度アップにも貢献。
- 竹林の散策、竹器でお抹茶、竹林ライトアップや、ハンモックテントを竹の間に吊るし竹林で夜をあかすキャンプ事業など観光事業をスタートし、地域連携・周遊を促す。
- さらに、竹の魅力を伝える展示館、筍料理を楽しめる農家レストランをR5.4オープン予定。



竹林の景観

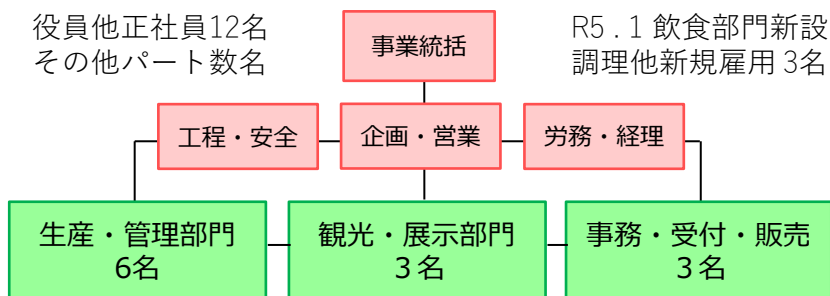


タケノコの6次化商品



竹林でのキャンプ事業

体制図



取組の成果

- 農産物、6次化商品の売上：4,500万円（H28）→ 7,900万円（R4）
- 竹林を活用した事業の売上：600万円（H28）→ 6,400万円（R4）
- 入場者数：4千人（H28）→ 1万人（H29）→ 8万人（R4）

※農産物売上には、竹材・竹植木苗を含む。6次化商品売上には他社6次化商品仕入を含む
竹林活用事業のH28年度は撮影と収穫体験のみ、翌H29年から観光化、R4年度は見込み

ウェブサイト▶ <https://www.wakayamafarm.com/>

地域資源：農林水産物、景観

事業分野：食品、観光・旅行、アウトドア、イベント

事業主体：協議会

- 直売所、レストラン、加工所の複合施設「いい里さかがわ館」を拠点として、地元農産物等を活用した特産品づくりを行うほか、ミツマタ群生地を地域資源とした誘客など、所得向上や就労機会創出につながる様々な取組を展開。

基本情報

- 所在地：栃木県芳賀郡茂木町
- 選定表彰：
 - ・農林水産祭（むらづくり部門）大臣賞(R3)
 - ・とちぎ地産地消夢大賞（H30）
- 主力商品：
 - ・そば、エゴマ、ブランド米、イチゴ
 - ・ミツマタ群生地を活用したハイキングツアー等
- 活用した支援施策：
 - ・県営中山間地域統合整備事業
 - ・魅力ある中山間地域づくり事業

取組の概要

- 耕作放棄地解消の一環として、加工品需要が見込める「エゴマ」や、高齢者でも比較的少ない負担で生産できる「そば」の作付けを推進し、これらを加工・販売。
- 「そば」の全量買い上げにより、生産者1人当たりの所得向上と作付面積拡大を実現。
- 生産者の得意分野に応じた作目の栽培推進や、端境期が生じないよう栽培時期をずらす工夫など、町やJAと連携し農産物の周年安定供給体制を構築。
- 焼森山のミツマタ群生地を地域資源とし、登山道・遊歩道を整備。地元バス会社と連携したシャトルバスの運行やハイキングツアー開催等で県内外の交流人口を創出。



いい里さかがわ館



そばを使用したメニュー



ミツマタ群生地遊歩道整備

体制図



取組の成果

- そばの作付面積：3ha（H20） → 10ha（H30）
- 農家の所得向上：1人当たり50～100万円増
- いちごを使用したジェラートや甘酒などの新商品開発、販路拡大
- 交流人口の創出：年間1万人以上（H27）
- いい里さかがわ館の従業員の女性比率：約7割

ウェブサイト▶<https://sakagawakan.jp/>

地域資源：農林水産物、生産圃場
 事業分野：加工・販売、福祉、観光
 事業主体：農林漁業者、地元企業、福祉団体

- 宇都宮市清原地域の農業者が中心となり地元異業種と共に6次産業化やグリーンツーリズム等のプロジェクトを展開。
- 生産・加工・販売の全工程において農福連携を取り入れ、地域内の人材活躍の場づくりにより地域を活性化。

基本情報

- 所在地：栃木県宇都宮市
- 選定表彰：
 - ・栃木県農業大賞 農村活性化の部 関東農政局長賞・栃木県知事賞（R3）
- 主力商品・イベント：
 - ・野菜や椎茸を用いたピクルスやグラノーラ、サラダ麺、スムージー等の加工品
 - ・福祉施設運営による農産物直売所「プチ・マルシェきよはら」
 - ・地元旅行会社と連携した収穫体験ツアー
- 活用した支援施策：
 - ・アグリビジネス創出促進事業（うつのみやアグリネットワーク運営委員会（宇都宮市））
 - ・“ウェルカムとちぎ”農村の魅力向上支援事業（栃木県）

取組の概要

- 清原地域の農産物を使った商品開発により、高付加価値化をするとともに地元や都内イベントに出店するなどし、販路開拓及び地域の魅力を発信。
- インバウンド対応の収穫体験や農を生かした特色あるグリーンツーリズムの実施により、誘客促進を地域ぐるみで展開。
- 発足以前から農福連携を積極的に行い、生産や加工を福祉施設に委託するだけでなく、福祉施設が開設する直売所で農産物やZutto きよはらブランドを販売し、農と福双方のメリットを高めながら取組を発展。



様々な6次化商品



Zutto きよはらのメンバー



イベント出展PR活動



梨棚カフェの開催

体制図

Zutto きよはら

○生産部門：5農家1施設（（株）山口果樹園、浅川りんご園、阿久津農園、岡本トマト園、福田農園、（社福）飛山の里福祉会ハート飛山等）

○委託加工：
瓶詰工房
FunkyPine

○農作業及び農産加工
受託、販売：
社会福祉法人飛山の里
福祉会 ハート飛山

○加工アドバイ
ス：（株）MOVE
ON

○ブランド提案：
machimusume

取組の成果

- ずっと故郷を愛して大地の恵みを地域に届けたい想いを込め地域ブランド「Zutto きよはら」を創設
- 6次化商品の開発数：ピクルス、グラノーラ等4製品 全17種
- 食育や農業体験、各種ツアーを通じた清原地域への訪問による地域全体の活性化



ウェブサイト▶<https://zuttokiyohara.jimdofree.com>